

平成 25 年度地域と連携した子どもの体力向上支援事業 ふりかえりシート

団体名(さくら総合スポーツクラブ)【 児 童 ・ 未就学児 】

1. 事業名

さくらキッズわいわいクラブ

2. 主な活動

- ① 体操種目 (輪 : ケンパ用、ビーズ袋、フライングディスク、竹落とし、長縄)
- ② ボール遊び
- ③ 器具を使った遊び (鉄棒、平均台、坂道セティ、ミトラホリ、大トラホリ、特設登り棒)

3. 成果

- ・10月から1月の間で、週2回を基本に20回の教室を開催したところ、予定参加者15人中平均して13人の参加者があり意欲的に子どもたちは参加してくれた。(出席予定数300人に対し274人出席91.3%の出席率)
- ・輪っこを使ったステップ練習を繰り返し行い、リズム良くステップできる子が増えてきた。繰り返し行うことにより動きがととも良くなり、他の運動への波及効果も感じている。
- ・ビーズ袋はつかみやすいため、投、捕の感覚づくりに多用し、できるようになってきた。
- ・数多く、多種の器具、手具種目を取り入れて活動することにより、偏りのない多くの感覚を体験させることができた。この事は、子どもたちがこれから運動スポーツを行う上で基礎となり、運動好きになる子どもを育てる一助になったと考えている。

4. 次年度以降の展望

(今年度の取組の成果や課題を受けて、将来のビジョン、展開の方法など)

- ・就学前児童は集中力が続かず、指導とは違う遊びを始めてしまう事が多々あり指導の難しさを感じる。しかし、それは同時に幼児の特性でもあり、指導者側として、目先を変えるバリエーションを増やし子どもたちがいつまでもくいついてくる内容を検討しなければと思っている。幼児期に多くの遊び(運動)を体験してもらい、こなれた動きができ運動好きな子が増え、ひいては、体力も向上していくよう、今後も広げていきたい。

5. 県への要望(この1年間で感じたことをこの機会に何でも!)

- ・助成をして頂かないと継続的に無料開催することはできないのが事実です。今回、参加料を徴収しないことが条件ではありますが、助成があってもいくらかの参加料(500円くらい)を徴収し受益者負担の考えを利用者に理解してもらうことも必要ではないでしょうか。
- ・幼児へ目を向け「運動遊びの大切さ」を普及、展開していけるよう県下にも広げていただきたい。

【活動写真】

マット



(ピーンとなってみよう!)

ビーズ袋



←ビーズ袋

(投げてキャッチできるかな?)

まねっこ



(おしりを着けずに 1・2・1・2)

輪っこ



(ねずみさんみたいにトコトコ)

平均台 (坂道)



(登ってジャンプ)

鉄棒



(お布団になってみよう~)